



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和8年2月号

507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

皆様、旧年中は本校の教育活動にかかわり、大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願ひいたします。冷え込む毎日ですが、体調管理には十分お気をつけください。

子ども達の元気な姿を日々HPにアップしています。お時間があるときにご覧いただき、家族の話題の一つとなっていましたらと思います。

「ワニを描いて気付くこと」

校長

さて、先日、6年生の教室に突如お邪魔して子供たちに「ワニの絵」を描いてもらいました。

ワニという生き物は、子供たちにとってよく知っている存在です。しかし、いざ「描いてみよう」となると、「あれ？ 口はどうなっていたかな」「ウロコみたいなのはあったっけ？」「手？ 足？ はどんな形だったかな」と、書き始めてみても手が一瞬止まります。

しかし、市之倉小の子がすごいのは、「制限時間1分」のなかで、「え～、無理～」などの否定的な言葉を一切発することなく、積極的に（自分の作品を見ながらニコニコ、ニタニタしながら）一気に書き上げる姿です。ほかの人の作品を見るのも、ましてや笑うようなことをしません。

作品を受け取り、校長室に広げてみると実にさまざまなワニが並びました。力強いワニ、空を飛んでいるようなワニ、笑っているようなワニ、細長いワニや小さなワニ、模様に工夫を凝らしたワニ・・・どれも愛おしく、当然ながらどれ一つとして同じ絵はありませんでした。

今回大切にしたかったのは、「絵が上手かどうか」ではありません。

自分なりに考え、思い浮かべ、最後まで描き上げたこと。そして、一人一人の感じ方や表現の違いが、そのまま「その子らしさ」として表れていることです。

子供たちは、「人と違ってもいい」「自分の表現に価値がある」ということを知って欲しく、うまく描こうとするよりも、「描いてみよう」と一歩踏み出すこと、その経験自体が大切だと感じてほしいと考えています。

6年生の子に許可を取り、作品とその良さ、価値を全校集会で子供たちに伝えました。

本年も学校では、結果だけでなく、挑戦する気持ちや、その子ならではの表現、個性を大切にしながら、子供たちの学びを支えていきたいと思います。

この集会後に、低学年の子たちがプリントの裏などにワニの絵を描いて、次々と見せてくれました。どの子も得意げに。うれしい姿です。

皆さんも描かれたたら、どんなワニが出来上がりりますか？



【校内に掲示中の「ワニ」たち】